



希望

新宿区立四谷小学校

学校だより

新しい年を迎えて

校長 飯田 孝一

明けましておめでとうございます。

謹んで新しい年の始まりをお祝い申し上げますとともに、保護者や地域の皆様のご多幸とご繁栄をお祈り申し上げます。

明るく陽光に満ち、すがすがしくも清冽な空気の中、3学期の始業式に子供たちの元気な姿が勢揃いしました。それぞれの胸に新しい年に向けた夢と希望が充ち満ちているようです。

さて、昨年は11月に全国小学校社会科研究協議会の全国大会の会場校として『よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎を培う社会科教育』～子どもが自らICTを活用し、社会認識を深める授業の創造～をテーマとする2年間の社会科の研究成果を発表することができました。これまで研究の推進に並々ならぬ力を注いできた教職員、他校から応援してくれた多くの先生方のもとより、日頃より地域協働学校のゲストティーチャーを努めて下さった地域、保護者の皆様、当日の運営に協力して下さいったPTAの役員・係の皆様の総力が大会の成功という形で結実しました。皆様のご支援、ご協力に改めて、御礼申し上げます。次第です。

詳細は学校ホームページに掲載しましたが、東京大会は10年毎に実施されます。都内1300校の中で代表5校の一つとして研究に邁進できたことは若い教職員にとって極めて貴重な学びの場であり、授業力向上に大きく資するものがありました。全国津々浦々からお集まり頂いた先生方からは子供たちが問題解決学習を積極的に深めている、ICTの活用が効果的になされている、玉川上水など郷土の教材が生かされている、等のお褒めの言葉があり、これまで進めてきた研究に大いに自信を深めたところです。

子供たちはやがて大人になり社会の形成に参画する時が来ます。その近未来において歴史を正しく認識し、現実を見据え、何が大切なのか、課題を解決するために何をなすべきか、を的確に判断・思考し、そして自分の考えをもって積極的に行動・実践できる力を培ってほしいと願っています。

席書会

席書会担当

四谷小では、新年明けて全校で硬筆、毛筆の書き初めに取り組んでおり、これの行事を「席書会」と呼んでいます。

席書会とは日本に昔から伝わる年中行事で、江戸時代に手習い師匠が年に2回、弟子やその他の人たちを集めて開いた書道展覧会を起源にしています。

四谷小では、1月9日(木)、10日(金)の2日間にわたってこの席書会が行われます。低学年は各教室、中・高学年は体育館で、学年ごとに一斉に行います。当日は息づかいまで聞こえてくる程の凜とした雰囲気の中、どの子も集中して書き初めに取り組みます。

以下に示すのが各学年で取り組む内容です。学校では2学期末から授業でも取り組んでいます。

○1、2年→硬筆書き初め

○3年→「お正月」

○4年→「美しい山」か「元気な子」を選択

○5年→「希望の朝」

○6年→「夢の実現」

字には、書いた人の心が如実に表れます。たとえ達筆の字ではなくとも良いのです。子どもたちには、見る人に気持ちが伝わるように、丁寧に字を書く習慣をつけてもらいたいと考えています。

子どもたちが書き上げた作品は、1月15日(水)から各教室の廊下に掲示します。きっと素晴らしい作品ができると思います。ご来校の際にはぜひご覧ください。

